

令和5年2月22日

保護者の皆様

湯河原町立湯河原小学校
校長 北村 和裕

令和4年度 学校評価アンケート集計結果

学校評価のアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。『ほかほかな湯河原小を
目指して(児童用アンケート)』、『学校評価アンケート(保護者用)』の集計結果がまとまりましたの
でお知らせします。この結果を次年度の学校運営の改善に生かすべく、取り組んでまいります。

| | 「当てはまる」「だいたい当てはまる」 と回答した割合(%) | 児童 | | 保護者 | |
|----|----------------------------------|----|----|-----|----|
| | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| 1 | 進んであいさつをしていますか | 92 | 93 | 86 | 85 |
| 2 | 温かな言葉をつかっていますか | 86 | 88 | 90 | 94 |
| 3 | 掃除をがんばっていますか | 93 | 96 | 86 | 94 |
| 4 | 粘り強く学習をしていますか | 85 | 82 | 77 | 72 |
| 5 | ICT機器を活用できていますか | 95 | 95 | 71 | 88 |
| 6 | 進んで家庭学習にとりこんでいますか | 79 | 81 | 65 | 67 |
| 7 | 手洗い、検温、体調チェックを毎日していますか | 95 | 93 | 95 | 95 |
| 8 | 災害が起きた時、初期行動がとれていますか | 91 | 95 | 86 | 89 |
| 9 | 早寝、早起きをし、朝ご飯をきちんと食べていますか | 80 | 82 | 83 | 83 |
| 10 | 自分のいいところを知っていますか | 69 | 68 | 86 | 85 |
| 11 | 友だちのいいところを知っていますか | 93 | 96 | 95 | 98 |
| 12 | 学習で困ったとき「教えて」と言えますか | 84 | 83 | 84 | 91 |

1 アンケート結果から

- ・質問1～2から、ほとんどの児童が進んであいさつを行い、温かな言葉を心掛け、思いやりの心をもっていることがわかります。児童会事務局が中心となり「自分から挨拶をしよう」という活動を行ったことも成果につながったと考えます。12%の児童は、思いやりが足りなかったかな、と自分の生活を振り返ったようです。
- ・質問3から、児童は高い意識を持って掃除に取り組んでいるようです。後期はさらに高まっています。
- ・質問4では、多くの児童が粘り強く学習をしている、と回答しています。一方保護者の方の回答はそれより10%ほど低く、児童の回答との差がみられます。質問6の回答についても同様です。学校での学習に対する取り組みの姿勢と、家庭での取り組みの姿勢に差があることが考えられます。
- ・質問5の保護者の回答が、前期から後期に大きく向上しました。学校の授業での活用はもちろん、夏休みなどに、タブレットPCを家庭に持ち帰り、家庭学習でもICTの活用を進めてきたことの成果が表れたのだと思われます。
- ・質問7～9について、学校、家庭における手洗いなどの新しい生活習慣が定着してきました。災害が起きたときの行動についても、高い意識がみられます。児童が自分で判断する力を養うため、避難訓練は児童への予告をしない形で行っています。その成果が表れていると考えます。
- ・質問10、11について、ほとんどの児童が、友だちのいいところを知っている、と答えている一方、自分のいいところを知っている、という質問では、肯定的回答が69%にとどまっています。それ以外は、なかなか自分を肯定的にとらえられない児童であると考えます。
- ・質問12では、ほとんどの児童は、学習でわからない時は「教えて」と言えているようですが、10人に1～2人の児童はわからなくても、自分から教えてもらうことがなかなかできず、そのままになっているのではないかと心配されます。

2 来年度に向けて

- 今後も望ましい集団づくりを目指し、互いの学び合いや、認め合いのある学級づくりや、なかよし班活動などの児童による主体的な活動を通して、豊かな心を育成します。
- 児童の思考に寄り添った、わかる・楽しい授業づくりを行い、児童の学びに向かう力を育てます。
- 児童や保護者が困ったときに、相談でき、一緒に考えていける学校を目指します。